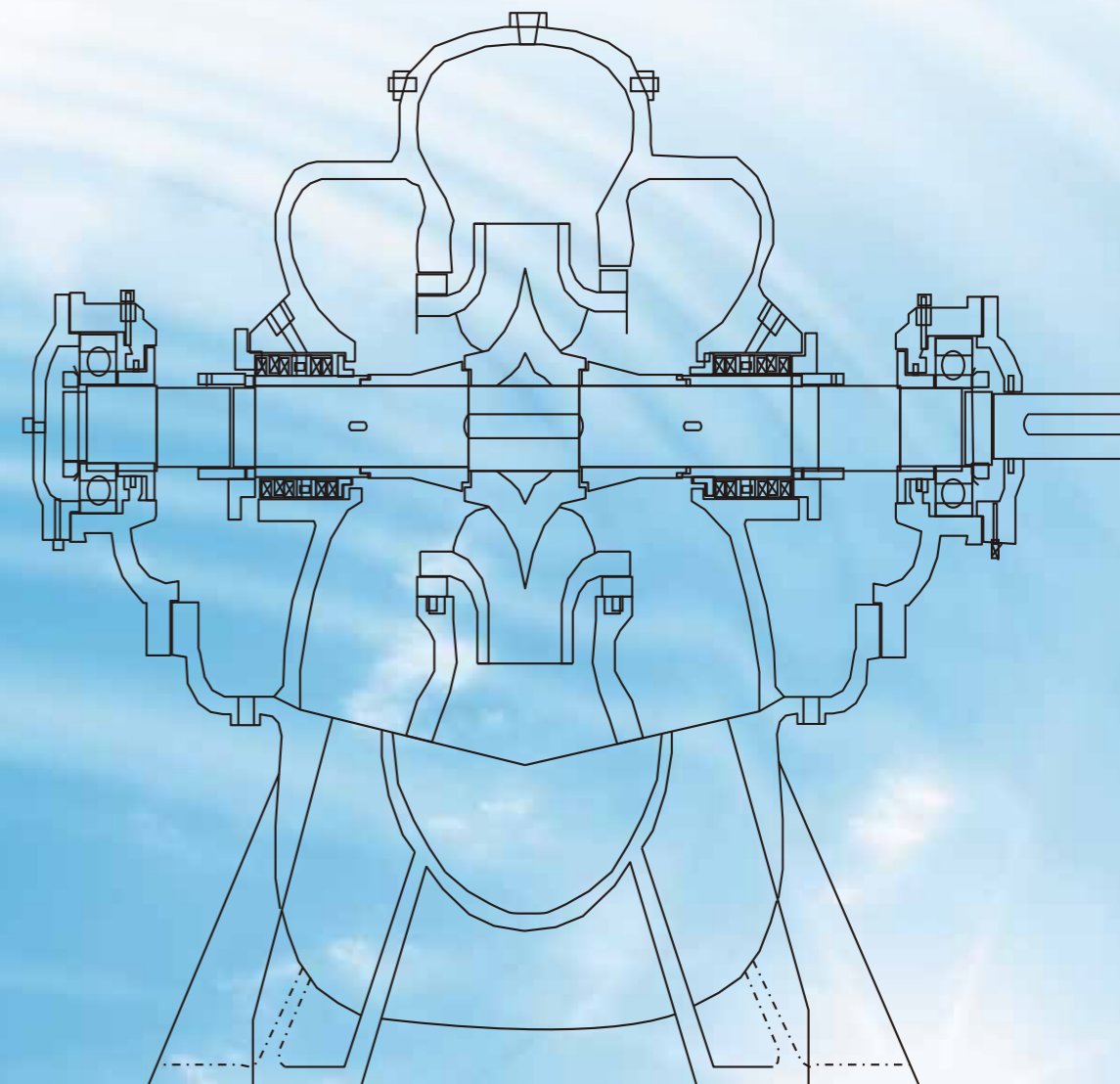


# クボタポンプ工場整備カタログ

KUBOTA PUMP Repair & Maintenance Service

## — 両吸込うず巻ポンプ編 —



### ■補足資料 部品の耐用年数(目安)

両吸込うず巻ポンプ (条件: 清水 年間運転時間: 4000hr)		
部品名	耐用年数	備考
ケーシング類	20年	局所的な腐食・摩耗
羽根車	10年	吐出し量の低下、羽根車外径の摩耗
主軸	10年	腐食・摩耗
スリーブ	3年	
グランドパッキン	1年	
メカニカルシール	2年	
ライナリング	5年	吐出し量の低下、ライナリングの内径摩耗
軸受	5年	異常音・異常振動
Oリング、ガスケット類	分解時交換	
軸継手用ゴム	3年	

(株)クボタ社内基準による

## クボタ環境エンジニアリング株式会社

■ 枚方事業センター	〒573-0004 大阪府枚方市中宮大池一丁目1番1号	TEL 072(840)5727
■ 東京ポンプ営業部	〒104-8307 東京都中央区京橋二丁目1番3号	TEL 03(3245)3141
■ 大阪ポンプ営業部	〒661-8567 尼崎市浜一丁目1番1号	TEL 06(6470)5900
■ 北海道ポンプ部	〒060-0003 札幌市中央区北三条西三丁目1番54号	TEL 011(214)8166
■ 東北ポンプ部	〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目6番1号	TEL 022(267)8962
■ 中部ポンプ部	〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号	TEL 052(564)5046
■ 中国ポンプ部	〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目5番7号	TEL 082(546)0479
■ 四国ポンプ部	〒760-0050 高松市亀井町2番地1号	TEL 087(836)3913
■ 九州ポンプ部	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目2番8号	TEL 092(473)2485

Ver.03 2022.03

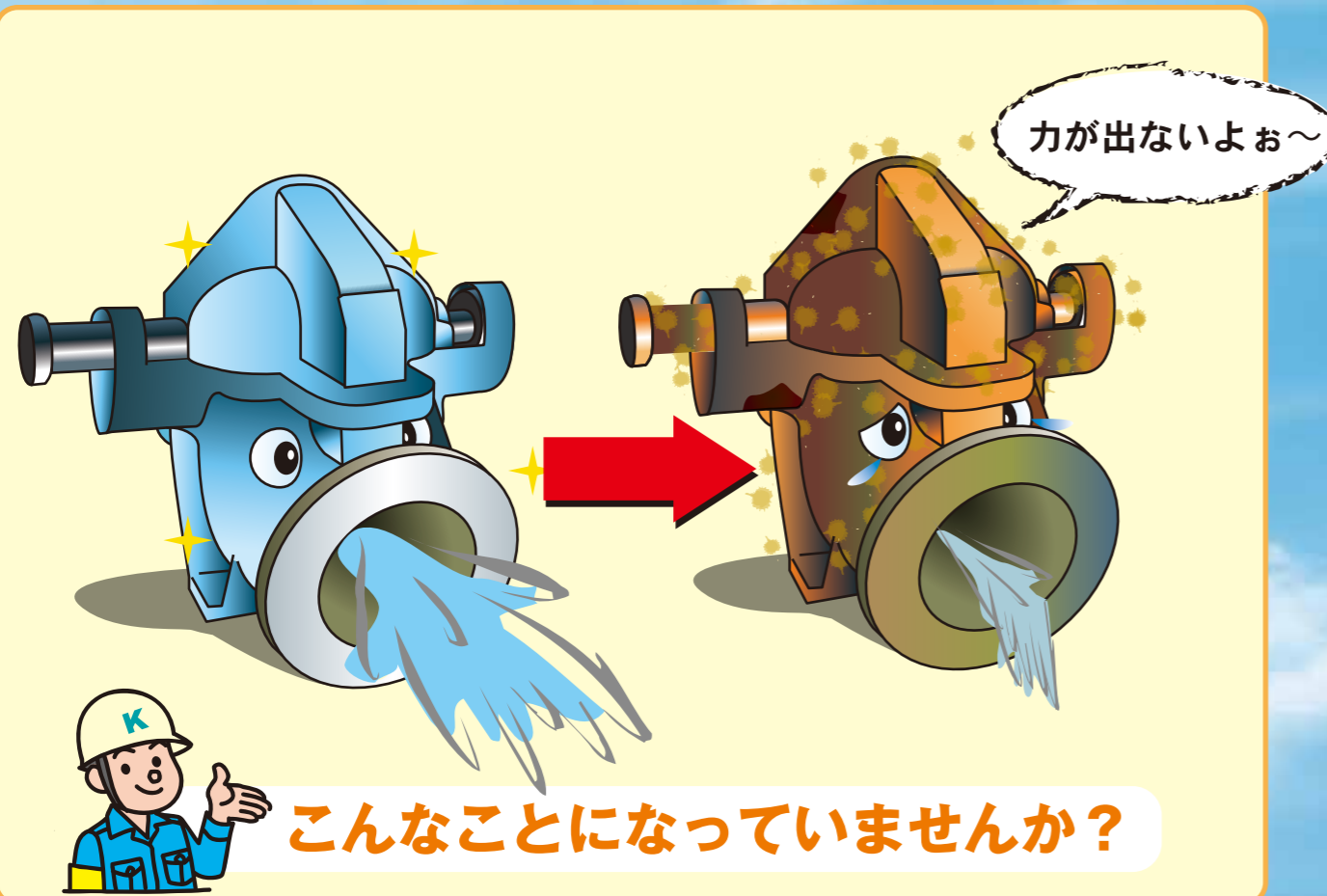
# 再生技術による機能維持・長寿命化をサポート!!

## ご使用のポンプは大丈夫ですか…?

現在ご使用されているポンプは確実に稼働し、能力を発揮できなければ意味がありません。

こんな症状が見受けられる場合は、ポンプ内部のダメージは深刻です。早めの整備が必要です。

- 吐出し量が少なくなったと感じる。
- 送水運転時に異常音・異常振動がする。
- 軸封部のトラブルが多くなった。
- 軸受部に異常な温度上昇がみられる。



## 安定したライフラインを確保するために

整備不足による故障やトラブルはときに断水を引き起こします。  
水の安定供給を持続するにはポンプの定期的な点検・整備が必要です。



人々の暮らしに必要不可欠な「水」  
私たちの技術やノウハウでサポートします!!





# ポンプの不具合要因 と整備のご推奨

## 軸封部摩耗

※写真は整備前



スリーブ



ケーシング軸封部

要 因：摺動部の経年劣化による漏水量の増加  
整 備：スリーブ・シール部品の取替

## 吐出し量低下

※写真は整備前



羽根車



ライナリング

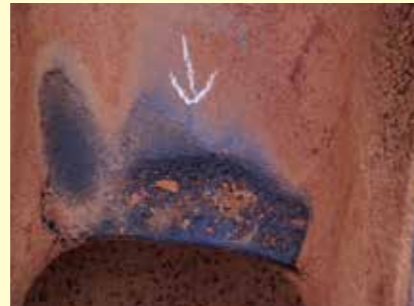
要 因：摺動部の経年劣化による吐出し量の低下  
整 備：羽根車修正加工・ライナリング取替による吐出し量回復

## ケーシング腐食

※写真は整備前



ケーシング



ケーシング

要 因：経年劣化による腐食  
整 備：金属補修材等による補修（要相談）

## 軸受損傷

※写真は整備前

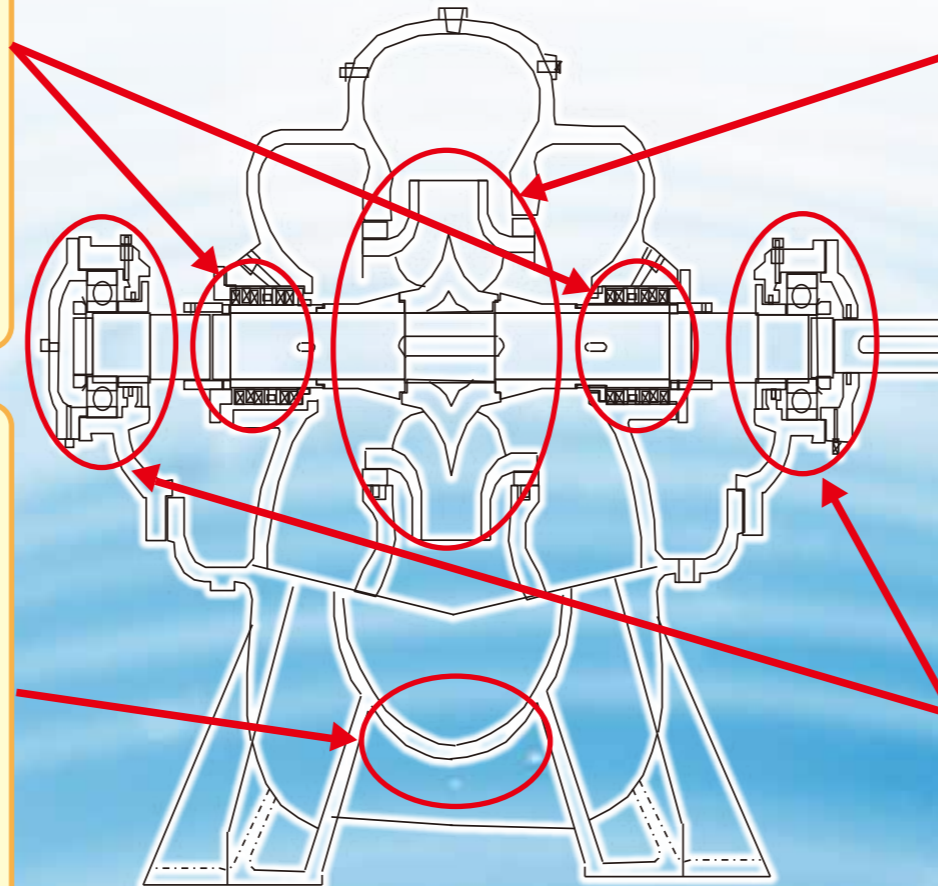


軸受



軸受箱

要 因：経年劣化による損傷  
整 備：重大故障を未然に防ぐため適正時期での交換



## 工場整備フロー

### ポンプ分解



### ケレン・塗装



### 修正加工



### バランス試験



### 部品交換



### 性能測定



## 完 成







# 整備紹介

## 羽根車修正加工



加工前

加工後

羽根車の修正加工を行うことで吐出し量の回復を図ります。

## ケレン・塗装



塗装前

塗装後

一旦塗装をすべて剥がし、傷及び摩耗状態を確認します。再塗装をする事でケーシング等の腐食進行を防止します。

## 液体浸透探傷試験 (PT)



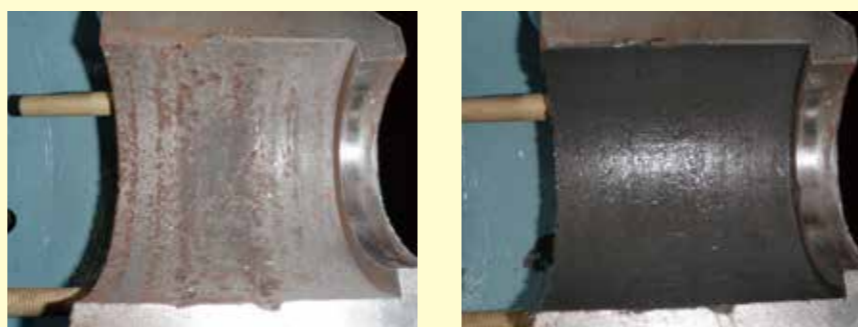
染色浸透探傷剤を用いて、羽根車や主軸にクラック（傷）などの発生がないか確認します

## 回転体不釣り合い量修正



不釣り合いを軽減し、機器の振動を軽減することで軸受部の延命化に繋がります。

## ケーシング補修



補修前

補修後

腐食箇所を金属補修材等により補修し、ケーシングの延命化に繋がります。（分解時の腐食状況により、要相談）

## ポンプ性能測定



組立完了後の最終確認として、ポンプの性能測定を行います。

急な故障を未然に防ぎ、水の安定供給を維持するには定期的な整備が不可欠です。また、ポンプ長寿命化を図ることで限りある資源を節約し、環境保全にも貢献します。

Ecology!

